

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業 個別最適な学習の構築のための委託事業



事業概要

現在、高等学校等においては、イノベティブなグローバル人材の育成に資する文理横断的な高度かつ多様な科目等の学習プログラムを開発し、例えば、WWL事業におけるALネットワークなど、連携する学校等間において、当該プログラムを活用した質の高い教育が実践されている。今後、これらの高度な学びをデジタルコンテンツ化するなど、全国の高校生が、個人の興味・特性等に応じた学習プログラム/コースをオンラインで学習することができるような仕組みの開発を推進し、もってWWLコンソーシアムの構築を促進する。

【具体的な取組内容】

- ① デジタルコンテンツを活用したオンデマンド配信方式の開発
- ② オンラインによる同時双方向型の合同授業の実施方法の開発
- ③ 大学教育の先取り履修に資するコンテンツ提供方法の開発

①～③のいずれかの教育手法を開発し、実践
(複合的に組み合わせて実践することも可)

① デジタルコンテンツを活用したオンデマンド配信
高等学校等において開発・実践している学習プログラムを、EdTechなどのシステムにおいて活用可能なデジタルコンテンツとし、オンデマンド型で配信。自校の生徒だけでなく、他校の高校生もアクセス可能とし、振り返り学習やより深い学びを享受するための機会を提供する。



② オンラインによる同時双方向型の合同授業
カリキュラム開発・実践している高等学校等が、その授業をオンラインを用いて、他の高等学校等に在籍する高校生との同時双方向型の合同授業の実施のための環境を整備。開講されていない教科・科目等の学びの機会を、また、免許外教員が担当する教科等の深い学びの機会を提供する。



③ 大学教育の先取り履修に資するコンテンツ提供
高等学校と連携している大学等において、課題解決型プログラムとして大学の講座をオンラインコンテンツ化し、EdTech等を活用して提供する仕組みを構築。全国の高等学校等に在籍する高校生に対して、大学教育の先取り履修として学びの機会を提供する。



対象校種

国公立の高等学校及び中高一貫教育校

委託先

都道府県・市町村教育委員会、
国立大学法人、学校法人等

箇所数
単価
期間

5拠点
650万円/拠点・年、原則3年

委託
対象経費

コンテンツ開発料、オンライン授業のための
設備備品費等 (デジタル教科書含む)